

「完成度の高いサービス (well-established service)」 にむけた実践・研究成果発信ワークショップ

行動ウェルネス研究会

—キックオフ＜第1回＞研究会のご案内—

日時：2019年1月19日（土） 13:00～16:00

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス

南校舎4階445教室（キャンパスマップ【6】）

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>

参加費用：無料

定員：90名（先着順）（メールによる事前申し込み）

参加対象：精神科、心理臨床、保健・福祉領域の専門家、大学院生

***** 申し込み方法 *****

宛先：BehaviorWellness5151@gmail.com

件名：第1回 行動ウェルネス研究会 参加申込（お名前）

本文：1) お名前（ふりがな） 2) ご所属・ご職名

3) 日本行動分析学会会員 or 非会員

※切：2018年12月31日（※定員に達した場合には期日前でも締め切ります）

主催：行動ウェルネス研究会

共催：慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター

***** 研究会の内容 *****

司会進行：奥田健次（学校法人西軽井沢学園）

13:00-13:10：山本淳一（慶應義塾大学） 「研究会趣旨説明」

13:10-13:40：岡本直人（あさかホスピタル）

「初学者が応用行動分析学実践を行うまで」

13:40-14:10：川上英輔（赤穂仁泉病院）

「精神科病院における応用行動分析学実践」

14:20-14:50：仁藤二郎（REONカウンセリング/高井クリニック）

「精神科外来における応用行動分析学実践」

14:50-15:20：奥田健次・山本淳一（指定討論）

15:20-16:00：総合討論（フロアからの質問やご意見など）

行動ウェルネス研究会

精神保健福祉領域の実践において、行動分析学のエッセンスを取り入れて支援を行なっている専門家は、それと意識しない場合でもかなりの割合になると考えられる。行動分析学は、公認心理師や精神障害支援に関する教科書の中にも取り上げられてきており、今後も幅広い領域のヒューマンサービスの基本的な理論やテクノロジーとしての力量をもっている。

ところが、近年のエビデンスを備えた認知行動療法の隆盛にも関わらず、精神保健福祉領域では現場レベルでのエビデンスがほとんど提出されていないのが実情である。

本研究会は、精神保健福祉領域の実践家・臨床家の皆様に、①応用行動分析学を現実的に実践していくための方法を学ぶ機会を提供し、②現場で得られた実践の効果を、学会発表や論文という形にして公表していく枠組みを提供することを目的として設立された。

論文を、個人の業績のためだけではなく、未来のクライアントのために書くという趣旨のもと、多くの実践家の方々にご賛同、ご参加頂き、現場レベルのエビデンスを「単一事例研究デザイン」の実践成果・研究成果として集積してゆくことで、「完成度の高いサービス (well-established service)」を発信し、実現していきたい。

(研究会会長：仁藤二郎)



皆様のご参加と活動発信から

「完成度の高いサービス (well-established service)」
が動き始めます！

慶應義塾大学 三田キャンパス
交通アクセス

- 田町駅 (JR山手線/JR京浜東北線) から徒歩8分
- 三田駅 (都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線) から徒歩7分
- 赤羽橋駅 (都営地下鉄大江戸線) から徒歩8分